

一人ひとりの力をあわせて節電を

東日本大震災の影響により、九州でも夏場の電力不足が予想され、市民の暮らしや経済活動に大きな影響が心配されています。智慧を絞って、家庭や事務所で二人ひとり、みんなが少しずつ節電の努力をしましょう。

一人ひとりの節電がCO₂の排出量を抑え、地球温暖化防止にも貢献します。

- **【事務所や家庭でできる節電ポイント】**
- エアコンで節電！（室温は28度に設定、風向きを調整）
- クールビズスタイル！（勤務の状況に合わせて服装に工夫を）
- 断熱性を向上！（熱の出入りを効果的に防ぐ、ブラインド等の利用、緑のカーテンの作成）
- 照明で節電！（明るさや点灯時間間を調節）
- 省エネ機器で節電！（日々進化する省エネ機器を使用）
- こまめなスイッチオフ！（照明も電化製品もこまめにスイッチを切り、長時間使用しない場合は、プラグを抜いて待機電力を削減）

● 他にもこんなところで節電

テレビ：消すときは主電源オフ、明るさ調整、省エネモードに切り替え

冷蔵庫：扉の開閉時間を短く、詰め込む量も考えて

炊飯器：保温を控え、ご飯はレンジで温めなおす

電気ポット：保温を控える

食器洗浄機：汚れを拭き取り節約モードに切り替え、乾燥機の使用は控える

電気便座：温水洗浄便座を使用する場合は設定温度を低めに

洗濯機：お風呂の残り湯を利用し、まとめ洗いで洗濯回数を減らす

【いのほかにんご...】

● 早寝早起きは、夜の消費電力を抑えることになり節電につながります。早寝早起きの健康的な生活スタイルを実践しましょう。

● 食事や団らんの時などは、家族みんなで一つの部屋に集まりましょう。照明やエアコンなどの節電につながります。

年間を通じて家庭で消費される電力量を見ると、待機時消費電力は約6%を占めます。これは、テレビの消費電力量とほぼ同じ割合にあたります。待機時消費電力を減らすための機能やスイッチ付きタップなど便利な機器を利用し消費電力を減らしましょう。

問い合わせ

環境衛生課

☎0978-72-9001

災害に備えて 防災パトロールを実施しました

風水害の多発時期を前に、5月31日（火）、市内の災害危険地域を点検する防災パトロールが行われました。パトロールには市役所・県東部振興局・県国東土木事務所・消防団・自衛隊・国東警察署・市消防本部などから関係者約40人が参加し、土砂崩れや水害の恐れがある4カ所の現地調査を行いました。

現地調査後に行われた判定会議では、4カ所を新規に危険箇所指定し、今後の対応策について協議しました。

新規に指定された危険箇所

危険箇所名	地区	予想被害名
小高島川	国見町竹田津	土石流
古江	国見町櫛来	急傾斜地
牧留川	国東町来浦	土石流
北江漁港	国東町北江	水害



問い合わせ

総務課 ☎0978-72-5160